

希少植物の移植計画(案)

平成26年3月

近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所

平成26年の希少植物の移植計画(案)

対象範囲:平成26年の工事改変予定箇所とその周辺(約35ha)

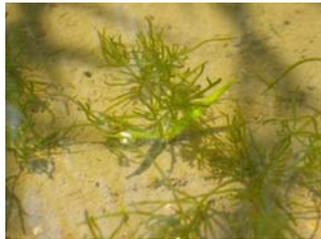
平成26年調査結果により
適宜追加を予定

種名	生育型	生育地点・個体数	移植方法	移植先	移植方法等
イワウメヅル	夏緑低木 ツル性	1地点 10個体	1) 挿し木 (育苗) 2) 移植	生育地近隣(影響外)で、 樹林・土壌等が 同じ生育環境の 箇所	1) 早春4月上旬に挿し穂を採取・ 育苗し、晩秋11月中下旬に移植 2) 早春4月上旬に移植 なお、1カ所に多く移植しない(移植先の 環境の改変の可能性あるため)
ミゾハコベ	1年草	1地点 158個体	表土の採取 ・撒きだし	湿地整備箇所 ダム洪水調節地 上流端他	結実期又は繁茂期後(9月下旬 以降)に表土5cm採取・撒きだし なお、表土の一部を保管する場合、 厚く野積みし、遮光シートで覆う。 (生存率が低くなるのを防ぐ)
ミズマツバ	1年草	4地点 7個体			
イチョウウキゴケ	水生苔類	2地点 2個体			

■ 他に確認されている希少種 (4種)

シャジクモ

3地点 H26工事改変地(水田)に広く分布



- 重要性
- ・環境省RL: 絶滅危惧Ⅱ類
- ・福井県RDB: 県域準絶滅危惧

・ミゾハコベ等と併せて、
表土を採取し、撒きだしを行う。

エビネ属の一種

(エビネ、ナツエビネ、サルメンエビネのいずれか)



1地点 6個体 H26工事の周辺に生育

- 重要性 (サルメンエビネの場合)
- ・環境省RL: 絶滅危惧Ⅱ類
- ・福井県RDB: 県域絶滅危惧Ⅰ類

・H26に種の同定を行う。

カガノアザミ

2地点 2個体 H26工事の周辺に生育



- 重要性
 - ・福井県RDB: 県域絶滅危惧Ⅱ類
- 発見した1個体は試験湛水時に消失する可能性があるが、周辺地域の既知の個体を含め大部分が残存すると考えられる。

環境保全措置を実施しない

ノダイオウ

4地点 17個体 H26工事の周辺(河川域)に生育



- 重要性
 - ・環境省RL: 絶滅危惧Ⅱ類
 - ・福井県RDB: 県域絶滅危惧Ⅱ類
- 発見した10個体は試験湛水時に消失する可能性があるが、周辺地域の既知の個体を含め大部分が残存すると考えられる。

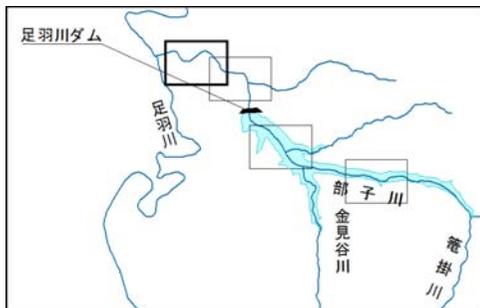
環境保全措置を実施しない

足羽川ダム建設事業 平成26年工事予定



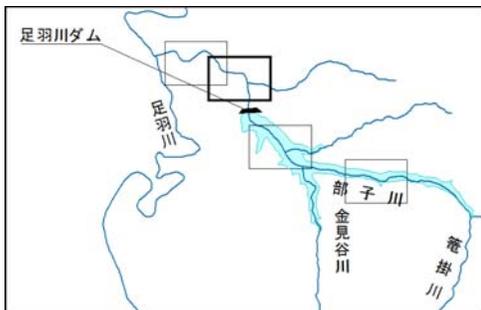
小畑地区(下小畑)

本図は、絶滅のおそれのある野生動植物を保護する観点から非公開としています。



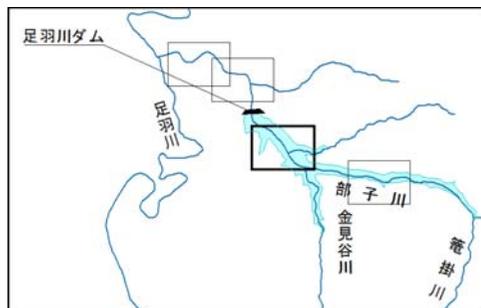
小畑地区(上小畑)

本図は、絶滅のおそれのある野生動植物を保護する観点から非公開としています。



千代谷地区

本図は、絶滅のおそれのある野生動植物を保護する観点から非公開としています。



大本地区

本図は、絶滅のおそれのある野生動植物を保護する観点から非公開としています。

